

衆議院外務委員会ニュース

平成 30.3.23 第 196 回国会第 4 号

3月23日（金）、第4回の委員会が開かれました。

1 国際情勢に関する件

- ・河野外務大臣、山本防衛副大臣、堀井外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

末松義規君（立憲）

- ・電子査証導入に向けた動きとその予算規模について伺いたい。
- ・他地域と比べて中東地域外交に関する予算、人員が少ないのではないか。
- ・北朝鮮情勢や米国の鉄鋼、アルミニウムの輸入制限に関して、河野外務大臣の訪米時に米国政府関係者とどのような話をしたのか。

阿久津幸彦君（立憲）

- ・外務省においては、公文書に関する問題を起こさないため、どのような防止策をとっているか。また、河野外務大臣は職員にどのような訓示をしているか。
- ・「ロヒンギャ」問題に関し、避難民のミャンマー国内への帰還及び再定住の現状について、河野外務大臣の認識を伺いたい。
- ・諸外国のように我が国においても重国籍を認めてほしいとの要望が多数寄せられているが、河野外務大臣の見解を伺いたい。

篠原豪君（立憲）

- ・2016年4月に沖縄の会社員女性が米軍属に殺害された事件で、日米地位協定第18条6項に基づく損害賠償命令制度による補償金の支払いを米国政府が拒否しているとの報道は事実か。また現況はどうなっているのか。
- ・日米地位協定の軍属に関する補足協定に基づき軍属の範囲を明確化した意義は何か。
- ・日米地位協定の抜本的な改正が必要であると考えているが、河野外務大臣の所見を伺いたい。

山川百合子君（立憲）

- ・「日米同盟の更なる強化」のために非軍事的側面から行われる具体的な施策は何か。
- ・「積極的平和主義」という言葉を日本政府が公式に使用し

始めた時期はいつか。

- ・単に戦争がないだけでなく、貧困、抑圧、差別のない状態である「積極的平和」をどのように具体化するのか。

関健一郎君（希望）

- ・北朝鮮による一定程度の核戦力保有が所与のものとして認められる危険性について河野外務大臣の所見を伺いたい。
- ・我が国と我が国で就労する外国人労働者を送り出している主要な国との間における租税条約締結状況について伺いたい。
- ・外務省は、我が国がILO看護職員条約を批准するためにどのような取組が必要であると考えているか。

緑川貴士君（希望）

- ・我が国がイージス・アショアを導入することで、日露関係が悪化し、北方四島の帰属問題解決や平和条約締結が遠く可能性について政府の認識を伺いたい。
- ・我が国がイージス・アショアを導入するに当たり米国との調整があったと承知しているが、米国との間で具体的にどのようなやりとりがあったのかについて伺いたい。
- ・イージス・アショアの国内配備先に関するこれまでの検討状況及び今後の具体的な取組方針について伺いたい。

小熊慎司君（希望）

- ・我が国は、東アジア地域包括的経済連携（RCEP）交渉において、被災地産品の輸入規制についての議論を提起しているのか。
- ・2019年は会津の人々が日本人として初めて米国に入植してから150年の節目の年であるが、記念式典や検証作業を行う必要性について外務省の見解を伺いたい。
- ・違法、無報告、無規制（IUU）漁業対策に対する政府の認識を伺いたい。

岡田克也君（無会）

- ・南北首脳会談、米朝首脳会談に向けた北朝鮮をめぐる外交において日本はどのように関与していくのか。
- ・河野外務大臣が訪米時に行った米朝首脳会談において拉致問題を提起すべきとの要請を米側は受け入れたのか。
- ・米国による鉄鋼・アルミニウムに対する輸入制限等の措置は自由貿易を阻害するとの懸念を米国に伝えるべきではないか。

穀田恵二君（共産）

- ・公文書改ざんの重大性や行政府の長としての総理の責任

2 盲人、視覚障害者その他の印刷物の判読に障害のある者が発行された著作物を利用する機会を促進するためのマラケシュ条約の締結について承認を求めるの件（条約第1号） 二千九年の船舶の安全かつ環境上適正な再資源化のための香港国際条約の締結について承認を求めるの件（条約第2号）

- ・河野外務大臣から提案理由の説明を聴取しました。

について河野外務大臣はどのように認識しているのか。

- ・北大西洋条約機構（NATO）日本代表部の新設等、NATOとの協力強化を図るのはNATO主導の軍事作戦に自衛隊が積極的に関与することを意図しているのではないか。
- ・我が国空域においてB52戦闘機が参加する共同訓練を実施する際に、B52戦闘機への核搭載の有無を確認する必要があるのではないか。